



## 令和6年 能登半島地震時の栄養部の対応

今も院内の階段の壁には地震の凄まじさを物語る傷跡が残っています。地震直後より節水指示が出され、栄養部での対応としては、食器洗浄を行わないためにディスポ（使い捨て）食器使用とし、調理は備蓄の保存水を使用することになりました。食器も水も数は限られているため、どのメニューをどの容器に入れるか、何日分もつのか…と日々在庫とメニューを考えていました。

調理において水は、ご飯やお粥を炊いたり、煮物やとろみ茶など様々な場面で使用します。味噌汁は提供せず、汁の多いメニューは変更をしていましたが、それでも1日100t以上の水を使用することを実感し驚きました。今回のことで私たちが普段何気なく使っていた水は、出ることが当たり前ではなかったのだと感じる機会となりました。

トイレを流すと水が流れる、蛇口をひねれば水が出ることに感謝をし、大切に使いついでいこうと思います。災害はないことに越したことはありませんが、この経験を今後起こりうるかもしれないものときに生かせるように引き継いでいきたいと思っています。



（記：栄養部 若林 美希）

## 中央臨床検査部

### ～採血室での血管迷走神経反射発生時の取り組み～

採血室で発生する患者急変の多くは、血管迷走神経反応（以下VVR）によるものです。VVRは採血に伴う合併症で、誘因としては長時間の坐位姿勢、穿刺による痛み、穿刺される恐怖、採血前の不眠、疲労などがあり、重症になると意識消失や痙攣により、卒倒し頭部外傷などが生じる恐れがあります。VVRは確実に予防する方法がない為、発生した場合は患者さんの安全を確保する事がとても重要です。



患者急変時シミュレーション風景

中央臨床検査部では、発生時の患者さんの姿勢の保ち方や仰臥位をとらせる為の移動方法などをリハビリテーション部に指導していただきました。また、シミュレーションを行い、スタッフの役割（車いすやストレッチャー、救急カートなどの準備）を明確化し迅速に対応できるようにしました。これからも、シミュレーションを行い、より正確で迅速に対応できるように努め、円滑で安全な採血業務、医療事故防止につなげたいと考えます。

（記：中央臨床検査部 石丸 賢一）

回覧												

## 令和5年度 医療安全推進週間イベント実施報告

令和5年度の医療安全推進週間に、令和5年11月19日(日)から11月25日(土)を中心に患者さんや職員に医療安全に関する理解や認識が深まるよう、以下のようなイベントを開催しました。

### 【医療安全ちらしの配布】

令和5年11月21日(火)、29日(水)の2日間に、当院の医療安全に関心を持っていただくための啓発活動として、患者さんおよびご家族に医療安全ちらしを配布しました。


### 【医療安全活動報告の掲示】

令和5年11月15日(水)から12月1日(金)まで、リハビリテーション部、栄養部、5階東病棟、手術部、ME部、看護部外来、中央臨床検査部の7部署が取り組まれた医療安全活動をポスター形式にまとめ、順次エントランスに掲示しました。エントランスでは、足を止めて見ている患者さんも見受けられました。



医療安全活動報告の掲示

### 【医療安全川柳の募集】

令和5年11月15日(水)から12月1日(金)まで、医療安全に関する川柳を募集したところ、一般の部から40句、職員の部から35句の応募がありました。この中から優秀作品として一般の部、職員の部それぞれ3句ずつ合計6句が選出され、来年度の医療安全川柳として院内掲示を行います。川柳には、確認の大切さ、スタッフ間のコミュニケーションを  読んだものなど、作者が医療安全に込めた思いが感じられました。



他にも職員、患者さんへ向けて医療安全をアピールしていく方法がないか医療安全小委員会にて検討しています！

## 令和5年度(前期) 医療安全活動報告 優秀部署表彰

各部署には、日頃から医療安全活動にご協力をいただきありがとうございます。

令和5年11月30日(木)に、今年度6月から10月までに報告していただいた9部署の医療安全活動の中から、取り組みが特に優秀であったと認められた2部署を令和5年度(前期)医療安全活動報告優秀部署として、伊藤 透病院長から表彰状の授与及び記念品の贈呈が行われました。

### 《優秀部署》

- \* 4階西病棟 「医療安全活動報告-輸液製剤の開通」
- \* ニチイ学館 「DPC係数を上げよう」



優秀部署 (ニチイ学館、4階西病棟)

\* 医療安全通信は、病院ホームページに掲載されています。

右のQRコード 病院ホームページ「医療安全対策部」からもご参照できます。

